

Dual Source CT (DSCT) を用いた血栓回収術前体幹部CT

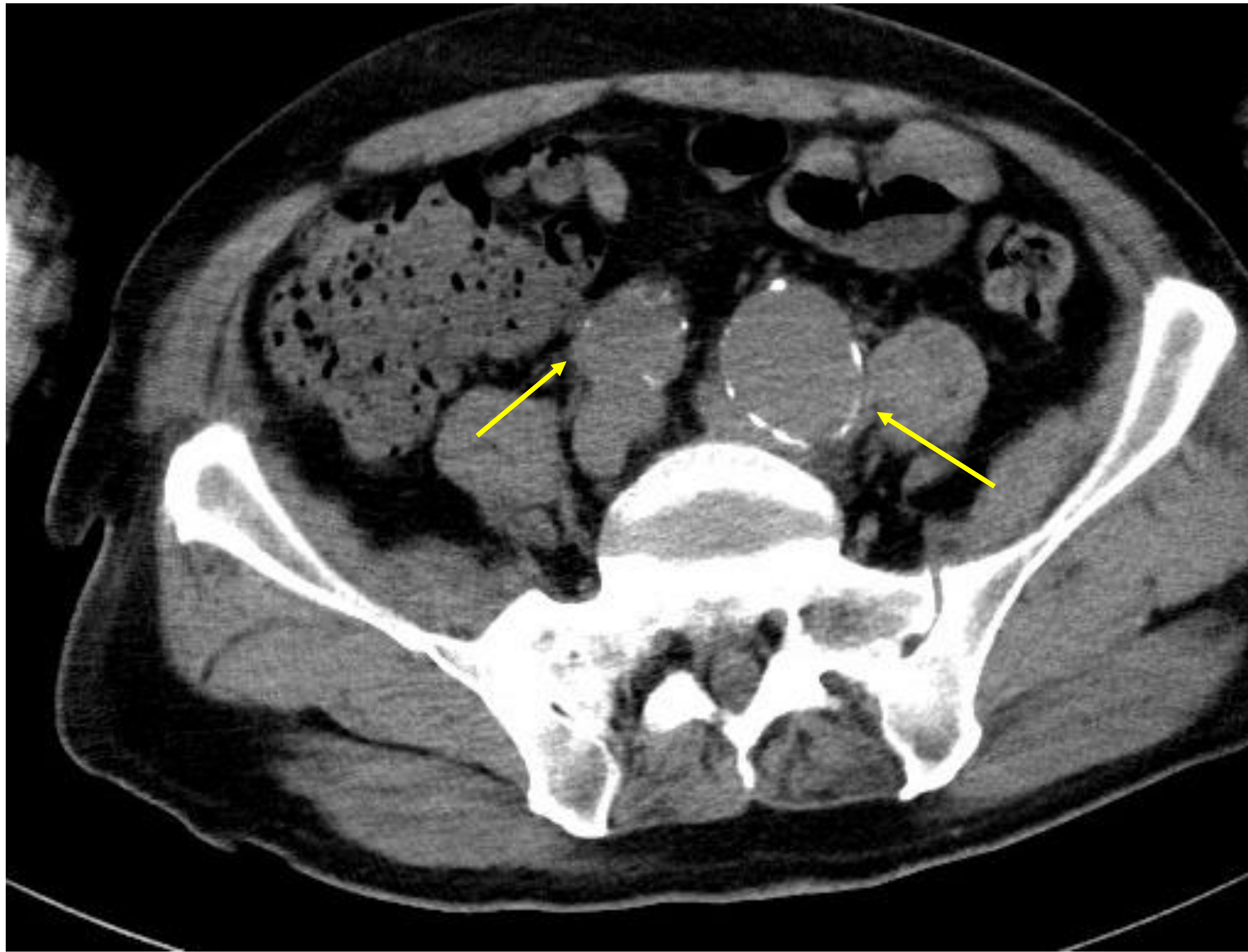


Fig.1

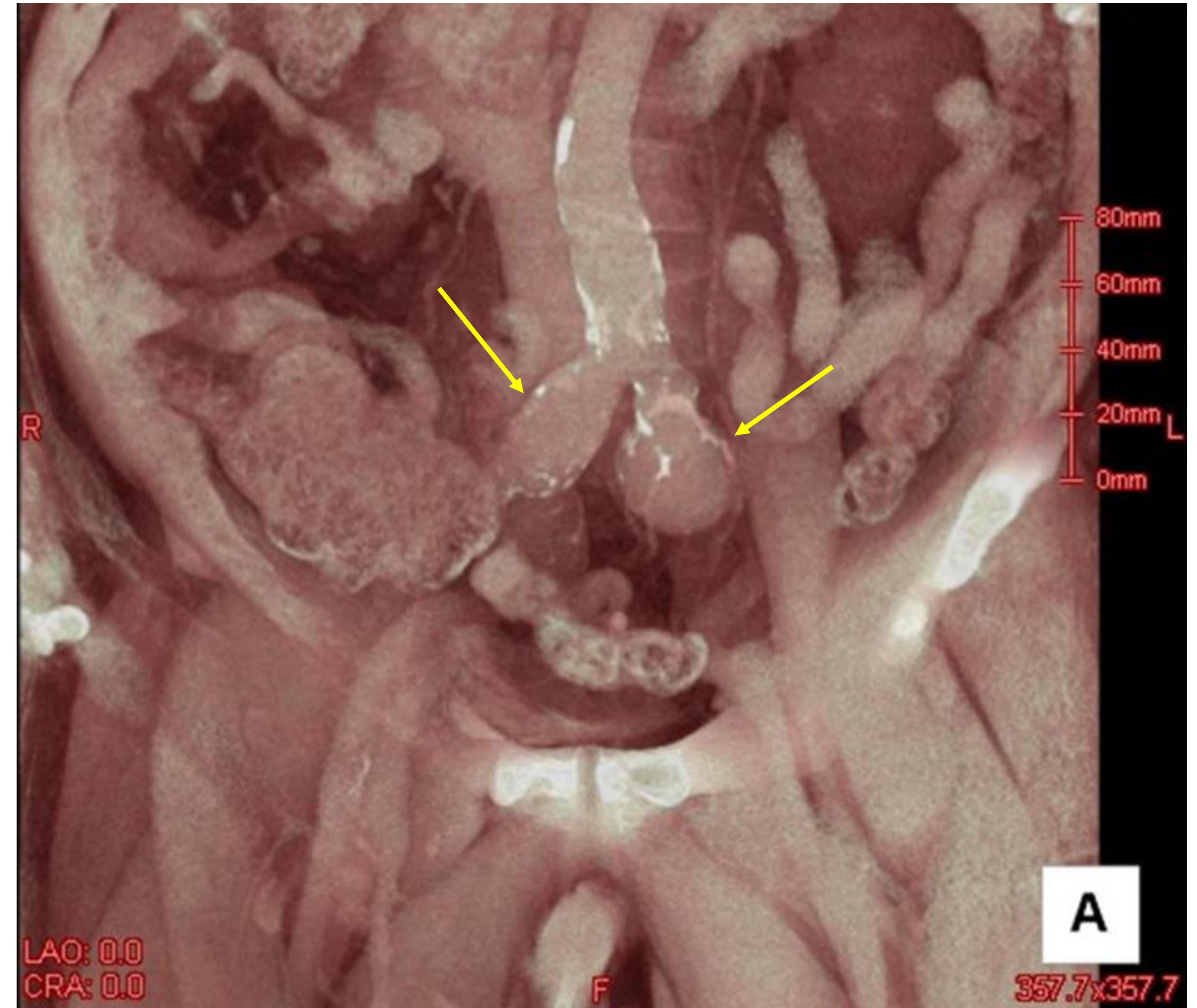


Fig.2

● 画像の説明

脳血栓回収術適応症例（Fig.1は病変部横断像、Fig.2はワークステーションにより作成した3D冠状断像）。DSCTは広範囲の高速（胸部～骨盤まで約3秒）撮影が可能である。カテーテルアクセスルートの術前評価目的に行った非造影CTにおいて、両側の総腸骨動脈瘤を認めた。術者は総腸骨動脈瘤の位置を確認しながら慎重に手技を行うことができ、カテーテルアクセス時の合併症の回避に有用であった。

● 撮影条件

管電圧: 120 kV、Pitch factor: 2.2、X線管球回転時間: 0.28秒